

平成 24 年度血液製剤使用実態詳細調査報告書

2013 年 04 月

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会

目 次

【2】輸血業務に関する詳細調査

1) はじめに	05
2) アルブミン製剤の使用状況について(規格単位ごと)	06
3) インフォームド・コンセントの実施について	11
4) 自己血輸血における細菌感染について	14
5) 輸血副作用の報告について	14
6) 異型適合血および輸血副作用の実態について	17
7) 輸血業務のヒヤリ・ハット事例について	23
8) 輸血前後の感染症検査について	27
9) 輸血と HBV 感染について	35
10) 輸血と HCV 感染について	37
11) 輸血と HIV 感染について	39
12) 定点観測アンケート調査(洗浄置換・置換血小板について)	41
13) 疾病別輸血実施状況について	45
14) 手術時輸血製剤詳細調査	55
15) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査	62
16) 1 日赤血球輸血 10 単位以上使用の調査	63

平成 24 年度血液製剤使用実態詳細調査報告書

2012 年 05 月 18 日

回答数（集計対象数）

(1) アンケート依頼施設数	1074 施設（病床数 300 以上）	
輸血業務に関する詳細調査回答施設	745 施設（69.37%）	
	内訳	
	Web	660 施設（88.59%）
	手書き	85 施設（11.41%）
(別紙 1) 自己血輸血における細菌汚染の症例	2 施設	4 症例
(別紙 2) 輸血過誤が行われた症例	15 施設	15 症例
(別紙 3) ABO 型異型輸血以外の溶血性副作用症例	8 施設	8 症例
(別紙 4) 重篤な副作用症例		
TRALI	12 施設	16 症例
重症アレルギー反応	45 施設	81 症例
輸血による重篤な細菌感染症	1 施設	1 症例
輸血後 TACO	1 施設	1 症例
その他	9 施設	11 症例
(別紙 5) 輸血後感染症検査陽性者に関する調査		
HBV	26 施設	78 症例
HCV	20 施設	154 症例
HIV	2 施設	2 症例

【平成 24 年度血液製剤使用実態詳細調査】

(別紙 6) 院内細胞処理・凍結保存・保管に関する調査

血縁末梢血幹細胞	105 施設
非血縁末梢血幹細胞	25 施設
自家末梢血幹細胞	145 施設
自家骨髄	20 施設
血縁者骨髄	51 施設
非血縁者骨髄	66 施設
臍帯血	50 施設
ドナーリンパ球	44 施設
顆粒球採取（アフェレシス法）	26 施設
樹状細胞用単核球採取（アフェレシス法）	13 施設
CTL（細胞障害性 T 細胞）採取（アフェレシス法）	12 施設
自己リンパ球増幅活性化療法のための細胞採取（アフェレシス法）	11 施設

(別紙 7) RCC10 単位以上使用の症例調査

RCC10 単位以上使用の症例	171 施設	5783 症例
-----------------	--------	---------

【病床数内訳】

番号	項目	回答数	比率
1	0 床	0	0.00%
2	1 床～20 床未満	0	0.00%
3	20 床～100 床未満	2	0.27%
4	100 床～200 床未満	7	0.94%
5	200 床～300 床未満	22	2.95%
6	300 床～400 床未満	262	35.17%
7	400 床～500 床未満	174	23.36%
8	500 床～600 床未満	101	13.56%
9	600 床～700 床未満	84	11.28%
10	700 床～800 床未満	32	4.30%
11	800 床～900 床未満	22	2.95%
12	900 床～1000 床未満	16	2.15%
13	1000 床以上	23	3.09%
	回答施設合計	745	

【2】 輸血業務に関する詳細調査

1) はじめに

2-1. 日本輸血・細胞治療学会の認定医制度、認定輸血検査技師制度、輸血看護師制度のいずれかの研修認定施設ですか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	26	6.24%	119	44.40%	145	20.31%
2	いいえ	27	100.00%	391	93.76%	149	55.60%	569	79.69%
	回答施設合計	27		417		268		714	

2-2. 詳細項目の回答内容を確認するため事務局からの問い合わせに対応いただけますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	13	54.17%	268	69.61%	192	77.73%	473	72.10%
2	いいえ	11	45.83%	117	30.39%	55	22.27%	183	27.90%
	回答施設合計	24		385		247		656	

2) アルブミン製剤の使用状況について(規格単位ごと)

2-3. 等張製剤(4.4% 250mL 瓶、5% 250mL 瓶)について過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)使用した製剤は次のどれですか

複数回答可

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	国産(採血国:日本)	9	36.00%	144	37.89%	125	47.17%	278	41.49%
2	輸入(採血国:海外、献血)	5	20.00%	146	38.42%	147	55.47%	298	44.48%
3	輸入(採血国:海外、非献血)	5	20.00%	55	14.47%	51	19.25%	111	16.57%
4	遺伝子組換え	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	使用実績はあるが詳細は不明	0	0.00%	2	0.53%	3	1.13%	5	0.75%
6	使用実績なし	11	44.00%	70	18.42%	13	4.91%	94	14.03%
	回答施設合計	25		380		265		670	

2-4. 等張製剤(4.4% 250mL 瓶、5% 250mL 瓶)の過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)の使用実績

等張製剤(4.4% 250mL 瓶、5% 250mL 瓶)の使用量(g)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	(1)国産(採血国:日本)	8	67.0	4662.5	1609.38	12875.0	1654.65
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	3	1062.5	7687.5	3604.17	10812.5	3571.44
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	3	352.0	1625.0	860.67	2582.0	673.91
	(4)遺伝子組換え						
300～499 床	(1)国産(採血国:日本)	136	17.6	178066.0	4361.95	593224.6	15351.19
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	144	32.5	108875.0	6422.47	924836.0	11479.67
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	44	22.0	21612.5	4042.03	177849.5	4095.67
	(4)遺伝子組換え						
500 床以上	(1)国産(採血国:日本)	117	45.0	78750.0	11129.36	1302134.9	12256.59
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	142	102.5	101887.5	17447.65	2477566.9	16451.78
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	41	4.2	65023.2	15590.67	639217.6	17533.71
	(4)遺伝子組換え						
全体	(1)国産(採血国:日本)	261	17.6	178066.0	7311.24	1908234.5	14197.48
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	289	32.5	108875.0	11810.43	3413215.4	15130.06
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	88	4.2	65023.2	9314.19	819649.1	13591.75
	(4)遺伝子組換え						

2-5. 高張製剤(20% 20mL 瓶、20% 50mL 瓶)について過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)に使用した製剤は次のどれですか 複数回答可

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	国産(採血国:日本)	11	52.38%	103	29.43%	111	44.76%	225	36.35%
2	輸入(採血国:海外、献血)	0	0.00%	3	0.86%	7	2.82%	10	1.62%
3	輸入(採血国:海外、非献血)	2	9.52%	29	8.29%	33	13.31%	64	10.34%
4	遺伝子組換え	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	使用実績はあるが詳細は不明	0	0.00%	3	0.86%	2	0.81%	5	0.81%
6	使用実績なし	11	52.38%	217	62.00%	116	46.77%	344	55.57%
	回答施設合計	21		350		248		619	

2-6. 高張製剤(20% 20mL 瓶、20% 50mL 瓶)の過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)の使用実績

等張製剤(20% 20mL 瓶、20% 50mL 瓶)の使用量(g)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	(1)国産(採血国:日本)	9	180.0	6600.0	2611.89	23507.0	2738.91
	(2)輸入(採血国:海外、献血)						
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	2	240.0	600.0	420.00	840.0	254.56
	(4)遺伝子組換え						
300～499 床	(1)国産(採血国:日本)	102	40.0	24110.0	6039.99	616078.7	5487.67
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	2	570.0	4180.0	2375.00	4750.0	2552.66
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	27	225.0	14620.0	5944.82	160510.2	4006.56
	(4)遺伝子組換え						
500 床以上	(1)国産(採血国:日本)	104	16.0	62790.0	10307.34	1071963.0	11656.11
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	5	1010.0	68090.0	18148.00	90740.0	28503.17
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	29	80.0	40800.0	12653.88	366962.4	12272.39
	(4)遺伝子組換え	1	46370.0	46370.0	46370.00	46370.0	
全体	(1)国産(採血国:日本)	215	16.0	62790.0	7960.69	1711548.7	9247.92
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	7	570.0	68090.0	13641.43	95490.0	24534.49
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	58	80.0	40800.0	9108.84	528312.6	9751.56
	(4)遺伝子組換え	1	46370.0	46370.0	46370.00	46370.0	

2-7. 高張製剤(25% 20mL 瓶、25% 50mL 瓶)について過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)に使用した製剤は次のどれですか

複数回答可

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	国産(採血国:日本)	12	57.14%	183	50.41%	175	68.09%	370	57.72%
2	輸入(採血国:海外、献血)	1	4.76%	56	15.43%	57	22.18%	114	17.78%
3	輸入(採血国:海外、非献血)	2	9.52%	43	11.85%	29	11.28%	74	11.54%
4	遺伝子組換え	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	使用実績はあるが詳細は不明	0	0.00%	2	0.55%	2	0.78%	4	0.62%
6	使用実績なし	6	28.57%	110	30.30%	49	19.07%	165	25.74%
	回答施設合計	21		363		257		641	

2-8. 高張製剤(25% 20mL 瓶、25% 50mL 瓶)の過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)の使用実績

等張製剤(25% 20mL 瓶、25% 50mL 瓶)の使用量(g)							
	項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	(1)国産(採血国:日本)	11	1437.5	13137.5	3760.23	41362.5	3564.55
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	1	3950.0	3950.0	3950.00	3950.0	
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	2	200.0	950.0	575.00	1150.0	530.33
	(4)遺伝子組換え						
300～499 床	(1)国産(採血国:日本)	181	12.5	53687.5	8535.91	1544999.0	8217.49
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	50	1114.0	33850.0	11379.90	568995.1	7878.29
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	40	12.5	47112.5	9769.24	390769.6	9880.80
	(4)遺伝子組換え						
500 床以上	(1)国産(採血国:日本)	165	25.0	128883.8	23596.65	3893446.7	21684.02
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	50	75.0	61212.5	19482.27	974113.6	16441.75
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	25	183.3	48201.5	12447.73	311193.3	13716.23
	(4)遺伝子組換え						
全体	(1)国産(採血国:日本)	357	12.5	128883.8	15349.60	5479808.2	17617.75
	(2)輸入(採血国:海外、献血)	101	75.0	61212.5	15317.41	1547058.7	13438.47
	(3)輸入(採血国:海外、非献血)	67	12.5	48201.5	10494.22	703112.9	11439.11
	(4)遺伝子組換え						

2-9. 定数在庫を置いている部署（手術室、ICU、救急外来など）がある場合、各々、国内献血アルブミン、外国産アルブミンの定数在庫の有無をお答えください

項目			1～299床		300～499床		500床以上		全体	
			回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
(1)手術室	国産アルブミン	(1) あり	10	62.50%	122	40.26%	133	54.96%	265	47.24%
		(2) なし	6	37.50%	181	59.74%	109	45.04%	296	52.76%
		回答施設合計	16		303		242		561	
	外国産アルブミン	(1) あり	2	14.29%	152	51.18%	147	61.00%	301	54.53%
		(2) なし	12	85.71%	145	48.82%	94	39.00%	251	45.47%
		回答施設合計	14		297		241		552	
(2)ICU	国産アルブミン	(1) あり	4	28.57%	90	32.61%	124	51.88%	218	41.21%
		(2) なし	10	71.43%	186	67.39%	115	48.12%	311	58.79%
		合計	14		276		239		529	
	外国産アルブミン	(1) あり	2	15.38%	112	40.29%	134	56.30%	248	46.88%
		(2) なし	11	84.62%	166	59.71%	104	43.70%	281	53.12%
		回答施設合計	13		278		238		529	
(3)救急外来	国産アルブミン	(1) あり	2	14.29%	47	16.55%	68	28.69%	117	21.87%
		(2) なし	12	85.71%	237	83.45%	169	71.31%	418	78.13%
		回答施設合計	14		284		237		535	
	外国産アルブミン	(1) あり	1	7.14%	61	21.55%	97	41.28%	159	29.89%
		(2) なし	13	92.86%	222	78.45%	138	58.72%	373	70.11%
		回答施設合計	14		283		235		532	
(4)上記以外	国産アルブミン	(1) あり	2	16.67%	74	25.78%	85	36.64%	161	30.32%
		(2) なし	10	83.33%	213	74.22%	147	63.36%	370	69.68%
		合計	12		287		232		531	
	外国産アルブミン	(1) あり	0	0.00%	68	24.37%	90	39.82%	158	30.56%
		(2) なし	12	100.00%	211	75.63%	136	60.18%	359	69.44%
		回答施設合計	12		279		226		517	

2-10. 問 1-4. 貴施設は DPC 取得病院ですかで「(1)はい」と回答した DPC 取得病院のみお答えください。出来高算定が可能な手術時の使用とそれ以外の使用において、上記の製剤の使用割合に差異がありますか。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	35	12.92%	29	14.08%	64	13.11%
2	いいえ	7	63.64%	124	45.76%	85	41.26%	216	44.26%
3	どちらともいえない	4	36.36%	112	41.33%	92	44.66%	208	42.62%
	回答施設合計	11		271		206		488	

3) インフォームド・コンセントの実施について

2-11. 輸血用血液製剤(赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤)の投与に際して患者又はその家族への説明を行い、同意(インフォームド・コンセント)を得ていますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	26	92.86%	400	96.15%	259	95.93%	685	95.94%
2	ほぼ行っている	2	7.14%	16	3.85%	11	4.07%	29	4.06%
3	あまり行っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	全く行っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	使用実績なし	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	28		416		270		714	

2-12. 輸血用血液製剤投与に際して患者又は家族へ説明し、同意を得る場合の同意書(輸血同意書)がありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	27	100.00%	416	100.00%	271	100.00%	714	100.00%
2	いいえ	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	作成中	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	27		416		271		714	

2-13. 血漿分画製剤(アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤)の投与に際して患者又はその家族への説明を行い、同意(インフォームド・コンセント)を得ていますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	23	88.46%	367	89.95%	224	86.15%	614	88.47%
2	ほぼ行っている	2	7.69%	27	6.62%	31	11.92%	60	8.65%
3	あまり行っていない	1	3.85%	5	1.23%	3	1.15%	9	1.30%
4	全く行っていない	0	0.00%	5	1.23%	2	0.77%	7	1.01%
5	使用実績なし	0	0.00%	4	0.98%	0	0.00%	4	0.58%
	回答施設合計	26		408		260		694	

2-14. 血漿分画製剤投与に際して患者又は家族へ説明し、同意を得る場合の同意書がありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血漿分画製剤単独の同意書がある	16	59.26%	215	53.22%	154	59.00%	385	55.64%
2	輸血同意書にその内容が含まれている	10	37.04%	178	44.06%	101	38.70%	289	41.76%
3	血漿分画製剤用の同意書はない	1	3.70%	9	2.23%	6	2.30%	16	2.31%
4	作成中	0	0.00%	2	0.50%	0	0.00%	2	0.29%
	回答施設合計	27		404		261		692	

2-15. 血漿分画製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の採血国について情報提供していますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	3	13.04%	77	21.75%	40	17.47%	120	19.80%
2	採血国が日本の場合行っている	1	4.35%	3	0.85%	1	0.44%	5	0.83%
3	採血国が海外の場合行っている	1	4.35%	8	2.26%	2	0.87%	11	1.82%
4	全く行っていない	18	78.26%	266	75.14%	186	81.22%	470	77.56%
	回答施設合計	23		354		229		606	

2-16. 血漿分画製剤使用時のインフォームド・コンセント取得の際の同意書に原料血液の採血国の情報を含んでいますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	含んでいる	4	16.00%	61	16.14%	35	14.58%	100	15.55%
2	含んでいない	21	84.00%	317	83.86%	205	85.42%	543	84.45%
	回答施設合計	25		378		240		643	

2-17. 血漿分画製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の献血・非献血の別について情報提供していますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	4	16.67%	74	20.79%	38	16.96%	116	19.21%
2	献血由来の場合行っている	0	0.00%	7	1.97%	4	1.79%	11	1.82%
3	非献血由来の場合行っている	0	0.00%	6	1.69%	2	0.89%	8	1.32%
4	全く行っていない	18	75.00%	261	73.31%	176	78.57%	455	75.33%
5	使用実績なし	2	8.33%	8	2.25%	4	1.79%	14	2.32%
	回答施設合計	24		356		224		604	

2-18. 血漿分画製剤使用時のインフォームド・コンセント取得の際の同意書に原料血液の献血・非献血の別についての情報を含んでいますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	含んでいる	4	16.67%	70	18.82%	44	18.57%	118	18.64%
2	含んでいない	20	83.33%	302	81.18%	193	81.43%	515	81.36%
	回答施設合計	24		372		237		633	

4) 自己血輸血における細菌感染について

2-19. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で貯血式自己血輸血において細菌感染および疑い例はありましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	2	0.49%	2	0.74%	4	0.57%
2	ない	25	100.00%	403	99.51%	270	99.26%	698	99.43%
	回答施設合計	25		405		272		702	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
	1～299床					
	300～499床	2	1	3	2	1.41
	500床以上	2	1	5	3	2.83
	全体	4	1	5	2.5	10

5) 輸血副作用の報告について

2-20. 輸血用血液による副作用の報告の条件は

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	19	65.52%	309	75.00%	212	77.94%	540	75.74%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	8	27.59%	76	18.45%	45	16.54%	129	18.09%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	1	3.45%	17	4.13%	12	4.41%	30	4.21%
4	その他	1	3.45%	10	2.43%	3	1.10%	14	1.96%
	回答施設合計	29		412		272		713	

2-21. 病棟・外来から輸血部門への報告の方法は

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	19	65.52%	247	59.81%	109	39.93%	375	52.45%
2	コンピュータ入力	6	20.69%	117	28.33%	148	54.21%	271	37.90%
3	電話・FAX 対応	3	10.34%	41	9.93%	12	4.40%	56	7.83%
4	その他	1	3.45%	8	1.94%	4	1.47%	13	1.82%
	回答施設合計	29		413		273		715	

2-22. 報告の率は何%くらいでしょうか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ 100%	20	71.43%	291	72.39%	173	65.04%	484	69.54%
2	81～99%	2	7.14%	53	13.18%	52	19.55%	107	15.37%
3	61～80%	1	3.57%	15	3.73%	20	7.52%	36	5.17%
4	41～60%	0	0.00%	5	1.24%	3	1.13%	8	1.15%
5	21～40%	0	0.00%	6	1.49%	6	2.26%	12	1.72%
6	0～20%	5	17.86%	32	7.96%	12	4.51%	49	7.04%
	回答施設合計	28		402		266		696	

2-23. 重篤な副作用(例えば溶血性副作用やショック発生時など)発生時の輸血部門への緊急連絡体制について

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	電話などで輸血担当部署に連絡することとなっている	16	55.17%	175	43.42%	161	60.07%	352	50.29%
2	主治医・診療科で対応し、緊急の連絡はない	8	27.59%	88	21.84%	36	13.43%	132	18.86%
3	整備された緊急対応マニュアルに従って各科が先ず対応する	5	17.24%	131	32.51%	69	25.75%	205	29.29%
4	その他	0	0.00%	9	2.23%	2	0.75%	11	1.57%
	回答施設合計	29		403		268		700	

2-24. 副作用発生時の原因製剤回収を行っていますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則すべて回収	13	48.15%	189	46.90%	125	46.13%	327	46.65%
2	重篤な副作用のみ回収	12	44.44%	175	43.42%	137	50.55%	324	46.22%
3	行っていない	1	3.70%	24	5.96%	4	1.48%	29	4.14%
4	その他	1	3.70%	15	3.72%	5	1.85%	21	3.00%
	回答施設合計	27		403		271		701	

2-25. 重篤な副作用発生時、輸血責任者・担当者などの対応について

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	主治医と対応策について協議することが多い	6	24.00%	152	39.28%	120	44.94%	278	40.94%
2	主に電話で主治医と連絡し、アドバイスなどを行うことが多い	9	36.00%	99	25.58%	105	39.33%	213	31.37%
3	特に対応せず主治医・診療科にまかせていることが多い	10	40.00%	136	35.14%	42	15.73%	188	27.69%
	回答施設合計	25		387		267		679	

2-26. 血漿分画製剤による副作用の報告の方法は

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	12	46.15%	165	46.22%	85	35.86%	262	42.26%
2	コンピュータ入力	2	7.69%	53	14.85%	67	28.27%	122	19.68%
3	電話・FAX 対応	9	34.62%	91	25.49%	54	22.78%	154	24.84%
4	その他	3	11.54%	48	13.45%	31	13.08%	82	13.23%
	回答施設合計	26		357		237		620	

2-27. 血漿分画製剤を使用する前に、患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	2	7.41%	25	6.65%	14	5.71%	41	6.33%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	0	0.00%	3	0.80%	2	0.82%	5	0.77%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	3	11.11%	63	16.76%	49	20.00%	115	17.75%
4	保存していない	22	81.48%	285	75.80%	180	73.47%	487	75.15%
	回答施設合計	27		376		245		648	

(1)又は(2)の場合、保存期間は何ヶ月ですか

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
(1)又は(2)の場合、保存期間（何ヶ月）	1～299 床	2	3.0	99.9	51.45	102.9	68.519
	300～499 床	19	0.5	99.9	29.34	557.4	22.584
	500 床以上	9	3.0	60.0	21.67	195.0	17.088
	全体	30	0.5	99.9	28.51	855.3	24.704

6) 異型適合血および輸血副作用の実態について

2-28. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)に輸血過誤による ABO 型異型輸血、間違った同型輸血が発生しましたか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	7	1.64%	12	4.41%	19	2.61%
2	ない	29	100.00%	419	98.36%	260	95.59%	708	97.39%
	回答施設合計	29		426		272		727	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数（症例／年）	1～299 床						
	300～499 床	7	1	1	1	7	0.00
	500 床以上	12	1	1	1	12	0.00
	全体	19	1	1	1	19	0.00

2-29. 過去 1 年間(2012 年 1 月～12 月)に輸血用血液製剤(赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤)の ABO 異型適合血輸血を実施した事例はありましたか。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	5	18.52%	157	39.25%	207	79.01%	369	53.56%
2	ない	22	81.48%	243	60.75%	55	20.99%	320	46.44%
	回答施設合計	27		400		262		689	

2-30. 過去 1 年間(2012 年 1 月～12 月)に輸血用血液製剤の ABO 異型適合血輸血を実施した事例数を記入してください。

輸血用血液製剤の ABO 異型適合血輸血を実施した事例数 (件/年)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 同型血入手不能時の O 型赤血球製剤の輸血事例数	1～299 床	3	1	1	1.00	3	0.00
	300～499 床	59	1	31	2.29	135	4.01
	500 床以上	61	1	10	2.10	128	2.08
	全体	123	1	31	2.16	266	3.13
(2) 同型血入手不能の O 型以外の赤血球製剤輸血事例数	1～299 床						
	300～499 床	8	1	2	1.13	9	0.35
	500 床以上	10	1	26	3.90	39	7.87
	全体	18	1	26	2.67	48	5.90
(3) 血液型未確定時の O 型赤血球製剤輸血事例数	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床	68	1	50	3.93	267	6.67
	500 床以上	137	1	56	8.82	1208	9.31
	全体	206	1	56	7.17	1476	8.80
(4) 血液型未確定時の O 型以外の赤血球製剤輸血事例数	1～299 床						
	300～499 床	2	1	2	1.50	3	0.71
	500 床以上	3	3	82	30.00	90	45.04
	全体	5	1	82	18.60	93	35.47
(5) 造血幹細胞移植による異型輸血事例数	1～299 床						
	300～499 床	17	1	717	96.29	1637	190.63
	500 床以上	88	1	1621	128.70	11326	251.14
	全体	105	1	1621	123.46	12963	241.86

輸血用血液製剤の ABO 異型適合血輸血を実施した事例数 (件/年)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(6) 造血幹細胞移植以外の移植による異型輸血事例数	1～299 床						
	300～499 床	5	1	436	90.00	450	193.43
	500 床以上	34	1	1211	45.76	1556	207.48
	全体	39	1	1211	51.44	2006	203.83
(7) その他 (理由を下の枠内に記入してください) 事例数	1～299 床	1	67	67	67.00	67	
	300～499 床	36	1	138	14.06	506	27.71
	500 床以上	55	1	328	31.67	1742	62.85
	全体	92	1	328	25.16	2315	52.28
(8) 合計事例数	1～299 床						
	300～499 床	65	1	857	22.92	1490	107.19
	500 床以上	109	1	1862	113.79	12403	249.96
	全体	174	1	1862	79.84	13893	212.60

「その他」の場合、その理由を記入して下さい 設問 2-30 その他の理由.xlsx 参照

2-31. ABO 異型輸血、間違った同型輸血以外の重篤な溶血性副作用(輸血過誤以外)が、過去1年間(2012年1月～2012年12月)に発生しましたか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	5	1.22%	7	2.60%	12	1.70%
2	ない	27	100.00%	404	98.78%	262	97.40%	693	98.30%
	回答施設合計	27		409		269		705	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	5	1	1	1	5	0.00
	500 床以上	5	1	1	1	5	0.00
	全体	10	1	1	1	10	0.00

2-32. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)に輸血関連急性肺障害(TRALI)を経験されましたか(疑い例も含む)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0	10	2.44%	11	4.09%	21	2.97%
2	ない	28	100.00%	400	97.56%	258	95.91%	686	97.03%
	回答施設合計	28		410		269		707	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299床						
	300～499床	8	1	2	1.13	9	0.35
	500床以上	11	1	2	1.27	14	0.47
	全体	19	1	2	1.21	23	0.42

2-33. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で重症アレルギー反応が、発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	20	4.94%	47	17.80%	67	9.63%
2	ない	27	100.00%	385	95.06%	217	82.20%	629	90.37%
	回答施設合計	27		405		264		696	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299床						
	300～499床	17	1	3	1.24	21	0.56
	500床以上	45	1	91	4.09	184	13.41
	全体	62	1	91	3.31	205	11.46

2-34. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で輸血後 GVHD が発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	1	0.37%	1	0.14%
2	ない	28	100.00%	407	100.00%	268	99.63%	703	99.86%
	回答施設合計	28		407		1	0.37%	704	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299床						
	300～499床						
	500床以上	1	3	3	3	3	
	全体	1	3	3	3	3	

2-35. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で輸血による重篤な細菌感染症を経験されましたか(疑い例も含む)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	1	0.37%	1	0.14%
2	ない	28	100.00%	408	100.00%	268	99.63%	704	99.86%
	回答施設合計	28		408		269		705	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299床						
	300～499床						
	500床以上	1	1	1	1	1	
	全体	1	1	1	1	1	

2-36. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で輸血後 TACO が発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	5	1.24%	10	3.77%	15	2.16%
2	ない	27	100.00%	399	98.76%	255	96.23%	681	97.84%
	回答施設合計	27		404		265		696	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299床						
	300～499床	5	1	2	1.20	6	0.45
	500床以上	10	1	1	1.00	10	0.00
	全体	15	1	2	1.07	16	0.26

2-37. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で上記(問 2-32～問 2-36)以外の重篤な副作用が発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	7	1.74%	8	3.04%	15	2.16%
2	ない	28	100.00%	395	98.26%	255	96.96%	678	97.84%
	回答施設合計	28		402		263		693	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299床						
	300～499床	5	1	2	1.20	6	0.45
	500床以上	7	1	4	1.86	13	1.21
	全体	12	1	4	1.58	19	1.00

7) 輸血業務のヒヤリ・ハット事例について

2-38. 過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)に過誤輸血につながるようなインシデント『実際には過誤輸血は行われなかったが、システムにより防御できたものを指します』が発生しましたか。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	5	17.86%	103	24.88%	105	39.18%	213	30.00%
2	ない	23	82.14%	311	75.12%	163	60.82%	497	70.00%
	回答施設合計	28		414		268		710	

2-39. 患者検体の取り違え(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	20.00%	43	42.57%	62	60.19%	106	50.72%
2	ない	4	80.00%	57	56.44%	41	39.81%	102	48.80%
3	不明	0	0.00%	1	0.99%	0	0.00%	1	0.48%
	回答施設合計	5		101		103		209	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床	36	1	2	1.14	41	0.35
	500 床以上	48	1	8	1.96	94	1.43
	全体	85	1	8	1.60	136	1.17

2-40. 血液型判定ミス(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	9	8.82%	6	5.83%	15	7.18%
2	ない	4	100.00%	93	91.18%	97	94.17%	194	92.82%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	4		102		103		209	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	8	1	2	1.13	9	0.35
	500 床以上	5	1	25	6.00	30	10.63
	全体	13	1	25	3.00	39	6.62

2-41. 検査室内での血液型転記ミス(コンピュータ誤入力、検査伝票への誤記など)(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	40.00%	29	29.00%	17	16.35%	48	22.97%
2	ない	3	60.00%	71	71.00%	86	82.69%	160	76.56%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	1	0.96%	1	0.48%
	回答施設合計	5		100		104		209	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床	27	1	2	1.04	28	0.19
	500 床以上	13	1	6	1.46	19	1.39
	全体	41	1	6	1.17	48	0.80

2-42. 病棟等での血液型転記ミス(カルテ、ベッド、輸血伝票への誤記など)(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1~299 床		300~499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	40.00%	17	17.00%	17	16.50%	36	17.31%
2	ない	3	60.00%	76	76.00%	80	77.67%	159	76.44%
3	不明	0	0.00%	7	7.00%	6	5.83%	13	6.25%
	回答施設合計	5		100		103		208	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1~299 床	1	1	1	1.00	1	
	300~499 床	10	1	3	1.70	17	0.82
	500 床以上	13	1	19	5.00	65	4.71
	全体	24	1	19	3.46	83	3.84

2-43. カルテの血液型の確認ミス(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1~299 床		300~499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	10	9.80%	11	10.78%	21	10.05%
2	ない	5	100.00%	85	83.33%	84	82.35%	174	83.25%
3	不明	0	0.00%	7	6.86%	7	6.86%	14	6.70%
	回答施設合計	5		102		102		209	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1~299 床						
	300~499 床	6	1	1	1.00	6	0.00
	500 床以上	9	1	2	1.11	10	0.33
	全体	15	1	2	1.07	16	0.26

2-44. バッグの取り違え(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	14	14.00%	16	15.24%	30	14.29%
2	ない	5	100.00%	83	83.00%	86	81.90%	174	82.86%
3	不明	0	0.00%	3	3.00%	3	2.86%	6	2.86%
	回答施設合計	5		100		105		210	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	12	1	1	1.00	12	0.00
	500 床以上	14	1	1	1.00	14	0.00
	全体	26	1	1	1.00	26	0.00

2-45. 患者の取り違え(実際には過誤輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	1	1.02%	14	13.33%	15	7.21%
2	ない	5	100.00%	93	94.90%	89	84.76%	187	89.90%
3	不明	0	0.00%	4	4.08%	2	1.90%	6	2.88%
	回答施設合計	5		98		105		208	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	1	1	1	1.00	1	
	500 床以上	8	1	4	1.75	14	1.16
	全体	9	1	4	1.67	15	1.12

8) 輸血前後の感染症検査について

2-46. 輸血前感染症検査を実施するにあたって取り組んでいることは

複数回答可

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会、医長会議などで輸血前感染症検査の実施を周知徹底している	10	34.48%	93	22.25%	90	33.46%	193	26.96%
2	輸血指示があった際に、輸血前感染症検査が行われていないときは検査の実施を促している	4	13.79%	58	13.88%	36	13.38%	98	13.69%
3	必要な検査項目をセットで組んでいる（入院時検査、術前検査、輸血前検査など）	12	41.38%	249	59.57%	173	64.31%	434	60.61%
4	特別な取り組みはしていない（輸血前検体保管をしている）	15	51.72%	168	40.19%	110	40.89%	293	40.92%
5	特別な取り組みはしていない（輸血前検体保管をしていない）	0	0.00%	6	1.44%	0	0.00%	6	0.84%
6	その他	0	0.00%	4	0.96%	10	3.72%	14	1.96%
	回答施設合計	29		418		269		716	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 2-46 その他の詳細.xlsx 参照

2-47. 厚生労働省の推奨項目 全てを含む 輸血前感染症検査の実施率は

* 【厚生労働省の推奨項目】 HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、HCV 抗体、HCV コア抗原、HIV 抗体

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	10	37.04%	123	30.90%	71	28.17%	204	30.13%
2	21～40%	0	0.00%	15	3.77%	10	3.97%	25	3.69%
3	41～60%	0	0.00%	12	3.02%	13	5.16%	25	3.69%
4	61～80%	0	0.00%	3	0.75%	3	1.19%	6	0.89%
5	81～100%	4	14.81%	45	11.31%	35	13.89%	84	12.41%
6	調査したことがない	5	18.52%	137	34.42%	93	36.90%	235	34.71%
7	輸血前感染症検査を実施していない	8	29.63%	63	15.83%	27	10.71%	98	14.48%
	回答施設合計	27		398		252		677	

厚生労働省の推奨項目 <u>全てを含む</u> 輸血前検査の実施率実施率 (%) 2012 年(1 月～12 月)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	2	97.0	100.0	98.50	197.0	2.12
300～499 床	20	15.0	100.0	72.15	1442.9	27.54
500 床以上	18	0.7	100.0	67.08	1207.4	40.55
全体	40	0.7	100.0	71.18	2847.3	33.66

2-48. 厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血前感染症検査の実施率は

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	3	10.71%	8	2.05%	4	1.57%	15	2.23%
2	21～40%	0	0.00%	5	1.28%	3	1.18%	8	1.19%
3	41～60%	2	7.14%	21	5.37%	9	3.54%	32	4.75%
4	61～80%	1	3.57%	27	6.91%	20	7.87%	48	7.13%
5	81～100%	14	50.00%	172	43.99%	107	42.13%	293	43.54%
6	調査したことがない	4	14.29%	121	30.95%	91	35.83%	216	32.10%
7	輸血前感染症検査を実施していない	4	14.29%	37	9.46%	20	7.87%	61	9.06%
	回答施設合計	28		391		254		673	

厚生労働省の推奨項目 <u>全てを含む</u> 輸血前検査の実施率実施率 (%) 2012年(1月～12月)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	3	83.0	100.0	93.90	281.7	9.46
300～499 床	29	4.4	100.0	89.08	2583.4	20.70
500 床以上	19	29.8	100.0	88.01	1672.2	18.66
全体	51	4.4	100.0	88.97	4537.3	19.25

2-49. 輸血後感染症検査を受検して貰うための貴施設の取り組みについてあてはまる方法を全て選択して下さい

番号	項目	1~299 床		300~499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	13	44.83%	219	53.55%	156	57.78%	388	54.80%
2	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する（書面なし）。	3	10.34%	23	5.62%	17	6.30%	43	6.07%
3	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	7	24.14%	95	23.23%	89	32.96%	191	26.98%
4	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する(書面なし)。	0	0.00%	7	1.71%	7	2.59%	14	1.98%
5	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、患者宛に直接郵便などで通知している。	2	6.90%	23	5.62%	18	6.67%	43	6.07%
6	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、主治医宛に文書などで通知している。	3	10.34%	69	16.87%	33	12.22%	105	14.83%
7	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、診療科宛に文書などで通知している。	0	0.00%	24	5.87%	14	5.19%	38	5.37%
8	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、輸血療法委員会、医局会議などにリストを提出している。	1	3.45%	13	3.18%	5	1.85%	19	2.68%
9	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にアラートが出る。	2	6.90%	45	11.00%	42	15.56%	89	12.57%
10	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、医師が判断し検査を行う（特に通知は行わず医師にゆだねる）。	6	20.69%	76	18.58%	55	20.37%	137	19.35%
11	特に取り組んでいない	7	24.14%	53	12.96%	17	6.30%	77	10.88%
12	その他	4	13.79%	23	5.62%	24	8.89%	51	7.20%
	回答施設合計	29		409		270		708	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 2-49 その他詳細.xlsx を参照

2-50. 輸血後感染症検査を受検して貰うための貴施設の取り組みのうち、最も効果的と考えている方法を一つ選択して下さい

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	7	28.00%	91	23.16%	61	23.46%	159	23.45%
2	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する（書面なし）。	1	4.00%	2	0.51%	4	1.54%	7	1.03%
3	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	5	20.00%	71	18.07%	53	20.38%	129	19.03%
4	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する（書面なし）。	0	0.00%	3	0.76%	1	0.38%	4	0.59%
5	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、患者宛に直接郵便などで通知している。	3	12.00%	31	7.89%	25	9.62%	59	8.70%
6	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、主治医宛に文書などで通知している。	1	4.00%	40	10.18%	17	6.54%	58	8.55%
7	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、診療科宛に文書などで通知している。	0	0.00%	12	3.05%	5	1.92%	17	2.51%
8	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、輸血療法委員会、医局会議などにリストを提出している。	0	0.00%	5	1.27%	0	0.00%	5	0.74%
9	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にアラートが出る。	1	4.00%	56	14.25%	49	18.85%	106	15.63%
10	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、医師が判断し検査を行う（特に通知は行わず医師にゆだねる）。	2	8.00%	22	5.60%	11	4.23%	35	5.16%
11	特に取り組んでいない	5	20.00%	54	13.74%	24	9.23%	83	12.24%
12	その他	0	0.00%	6	1.53%	10	3.85%	16	2.36%
	回答施設合計	25		393		260		678	

2-51. 厚生労働省の推奨項目 全てを含む 輸血後感染症検査の実施率は

* 【厚生労働省の推奨項目】 HBV-DNA 核酸増幅検査、HCV コア抗原、HIV 抗体

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	11	40.74%	137	34.77%	83	32.68%	231	34.22%
2	21～40%	1	3.70%	40	10.15%	36	14.17%	77	11.41%
3	41～60%	1	3.70%	22	5.58%	16	6.30%	39	5.78%
4	61～80%	0	0.00%	12	3.05%	9	3.54%	21	3.11%
5	81～100%	3	11.11%	15	3.81%	4	1.57%	22	3.26%
6	調査したことがない	8	29.63%	124	31.47%	99	38.98%	231	34.22%
7	輸血前感染症検査を実施していない	3	11.11%	44	11.17%	7	2.76%	54	8.00%
	回答施設合計	27		394		254		675	

厚生労働省の推奨項目 <u>全てを含む</u> 輸血前検査の実施率実施率 (%) 2012 年(1 月～12 月)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	3	13.0	93.9	41.57	124.7	45.39
300～499 床	34	1.0	100.0	35.56	1209	27.21
500 床以上	22	1.0	71.6	33.33	733.2	20.38
全体	59	1.0	100.0	35.03	2066.9	25.42

2-52. 厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血後感染症検査の実施率は

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	9	32.14%	84	21.82%	54	21.43%	147	22.11%
2	21～40%	2	7.14%	51	13.25%	42	16.67%	95	14.29%
3	41～60%	1	3.57%	26	6.75%	28	11.11%	55	8.27%
4	61～80%	1	3.57%	14	3.64%	10	3.97%	25	3.76%
5	81～100%	3	10.71%	20	5.19%	10	3.97%	33	4.96%
6	調査したことがない	8	28.57%	148	38.44%	102	40.48%	258	38.80%
7	輸血前感染症検査を実施していない	4	14.29%	42	10.91%	6	2.38%	52	7.82%
	回答施設合計	28		385		252		665	

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血前検査の実施率実施率 (%) 2012年(1月～12月)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299 床	5	6.0	61.0	24.54	122.7	21.39
300～499 床	22	2.1	83.0	36.10	794.1	27.20
500 床以上	21	2.5	67.3	32.44	681.2	19.21
全体	48	2.1	83.0	33.29	1598.0	23.21

2-53. 輸血前感染症検査と輸血後感染症検査の今後のあり方についてお聞きします

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前感染症検査、輸血前検体保存、輸血後感染症検査を現状のまま行う	14	53.85%	198	50.13%	159	60.69%	371	54.32%
2	輸血前感染症検査は省略し、輸血前検体保存と輸血後感染症検査を行う	9	34.62%	119	30.13%	77	29.39%	205	30.01%
3	輸血後感染症検査のみ行う	0	0.00%	6	1.52%	0	0.00%	6	0.88%
4	輸血前検体保存のみ行う	2	7.69%	46	11.65%	22	8.40%	70	10.25%
5	全て行わない	0	0.00%	4	1.01%	0	0.00%	4	0.59%
6	その他	1	3.85%	22	5.57%	4	1.53%	27	3.95%
	回答施設合計	26		395		262		683	

2-54. 輸血前後の感染症検査(輸血前検体保管を含む)について、問題点や改善点あるとすればどのような点ですか。重要と考えられるものを5つまでお選びください。

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	費用対効果 (cost effectiveness) の検証	20	76.92%	202	51.40%	152	57.36%	374	54.68%
2	輸血後受診予定がない患者、他院への紹介患者などの輸血後検査実施体制の構築	16	61.54%	283	72.01%	203	76.60%	502	73.39%
3	輸血後検査陽転症例精査時の血液センターの対応	2	7.69%	46	11.70%	40	15.09%	88	12.87%
4	査定されることへの対策	11	42.31%	123	31.30%	90	33.96%	224	32.75%
5	診療報酬点数への収載	11	42.31%	170	43.26%	127	47.92%	308	45.03%
6	国の財政援助が必要	4	15.38%	61	15.52%	46	17.36%	111	16.23%
7	行政の広報活動が必要	4	15.38%	63	16.03%	50	18.87%	117	17.11%
8	継続的に輸血を行っている患者、頻回に輸血を行っている患者への対応	13	50.00%	220	55.98%	132	49.81%	365	53.36%
9	小児への対応	1	3.85%	37	9.41%	55	20.75%	93	13.60%
10	終末期患者への対応	8	30.77%	95	24.17%	46	17.36%	149	21.78%
11	医師の理解不足	7	26.92%	164	41.73%	116	43.77%	287	41.96%
12	病院経営者の理解不足	0	0.00%	26	6.62%	6	2.26%	32	4.68%
13	感染症検査項目が多い(検査項目の絞り込みが必要)	6	23.08%	64	16.28%	32	12.08%	102	14.91%
14	感染症検査項目が少ない(HTLV-1などの検査項目追加が必要)	0	0.00%	12	3.05%	4	1.51%	16	2.34%
15	その他	0	0.00%	9	2.29%	5	1.89%	14	2.05%
	回答施設合計	26		393		265		684	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 2-54 その他詳細.xlsx 参照

9) 輸血と HBV 感染について

2-55. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)に輸血後感染症検査で HBV-DNA 又は HBs 抗原が陽性であった症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	10.71%	15	3.63%	27	10.07%	45	6.35%
2	ない	17	60.71%	289	69.98%	200	74.63%	506	71.37%
3	把握していない	8	28.57%	109	26.39%	41	15.30%	158	22.28%
	回答施設合計	28		413		268		709	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	3	1	3	1.67	5	1.15
	300～499 床	14	1	5	1.86	26	1.35
	500 床以上	26	1	18	3.38	88	4.03
	全体	43	1	18	2.77	119	3.30

2-56. 問 2-55 で「(1)ある」場合、輸血前から HBV 感染者であった症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	66.67%	13	86.67%	18	66.67%	33	73.33%
2	ない	1	33.33%	2	13.33%	9	33.33%	12	26.67%
	回答施設合計	3		15		27		45	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	2	1	2	1.50	3	0.71
	300～499 床	12	1	5	2.00	24	1.41
	500 床以上	17	1	18	4.53	77	4.56
	全体	31	1	18	3.35	104	3.68

2-57. 問 2-55 で「(1)ある」場合、輸血による HBV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	1	6.67%	3	11.11%	4	8.89%
2	ない	3	100.00%	14	93.33%	24	88.89%	41	91.11%
	回答施設合計	3		15		27		45	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	1	1	1	1.00	1	
	500 床以上	2	1	1	1.00	2	0.000
	全体	3	1	1	1.00	3	0.000

2-58. 問 2-55 で「(1)ある」場合、HBV 再活性化と診断された症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	50.00%	4	28.57%	11	40.74%	16	37.21%
2	ない	1	50.00%	10	71.43%	16	59.26%	27	62.79%
	回答施設合計	2		14		27		43	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床	4	1	1	1.00	4	0.00
	500 床以上	11	1	1	1.00	11	0.00
	全体	16	1	1	1.00	16	0.00

2-59. 問 2-55 で「(1)ある」場合、上記(問 2-56. 2-57. 2-58)に該当しない症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	33.33%	1	7.69%	4	15.38%	6	14.29%
2	ない	2	66.67%	12	92.31%	22	84.62%	36	85.71%
	回答施設合計	3		13		26		42	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床	1	1	1	1.00	1	
	500 床以上	4	1	1	1.00	4	0.00
	全体	6	1	1	1.00	6	0.00

10) 輸血と HCV 感染について

2-60. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)に輸血後感染症検査で HCV コア抗原又は HCV 抗体又は HCV-RNA が陽性であった症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	3.45%	15	3.67%	27	10.11%	43	6.10%
2	ない	19	65.52%	283	69.19%	200	74.91%	502	71.21%
3	把握していない	9	31.03%	111	27.14%	40	14.98%	160	22.70%
	回答施設合計	29		409		267		705	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	1	17	17	17.00	17	
	300～499 床	14	1	11	2.79	39	2.69
	500 床以上	24	1	58	8.92	214	12.60
	全体	39	1	58	6.92	270	10.49

2-61. 問 2-60 で「(1)ある」場合、輸血前から HCV 感染者と分かっていた症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	100.00%	13	86.67%	18	69.23%	32	76.19%
2	ない	0	0.00%	2	13.33%	8	30.77%	10	23.81%
	回答施設合計	1		15		26		42	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床	1	17	17	17.00	17	
	300～499 床	12	1	11	3.08	37	2.81
	500 床以上	16	1	18	7.69	123	6.02
	全体	29	1	18	6.10	177	5.67

2-62. 2-60 で「(1)ある」場合、輸血による HCV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	1	4.00%	1	2.44%
2	ない	1	100.00%	15	100.00%	24	96.00%	40	97.56%
	回答施設合計	1		15		25		41	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	1	1	1	1.00	1	

2-63. 問 2-60 で「(1)ある」場合、上記(問 2-61、2-62)に該当しない症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	2	13.33%	5	22.73%	7	18.42%
2	ない	1	100.00%	13	86.67%	17	77.27%	31	81.58%
	回答施設合計	1		15		22		38	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	2	1	1	1.00	2	0.00
	500 床以上	3	1	2	1.33	4	0.58
	全体	5	1	2	1.20	6	0.45

11) 輸血と HIV 感染について

2-64. 過去1年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)に輸血後感染症検査で HIV 抗体又は HIV-RNA が陽性であった症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	2	0.49%	1	0.37%	3	0.42%
2	ない	19	65.52%	294	71.71%	226	84.01%	539	76.13%
3	把握していない	10	34.48%	114	27.80%	42	15.61%	166	23.45%
	回答施設合計	29		410		269		708	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	2	1	1	1.00	2	0.00
	500 床以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	3	1	1	1.00	3	0.00

2-65. 問 2-64 で「(1)ある」場合、輸血前から HIV 感染者と分かっていた症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			0	0.00%	1	100.00%	1	33.33%
2	ない			2	100.00%	0	0.00%	2	66.67%
	回答施設合計	0		2		1		3	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	1	1	1	1.00	1	

2-66. 問 2-64 で「(1)ある」場合、輸血による HIV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない			1	100.00%	1	100.00%	2	100.00%
	回答施設合計			1		1		2	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体						

2-67. 問 2-64 で「(1)ある」場合、上記(問 2-65、2-66)に該当しない症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			1	100.00%			1	100.00%
2	ない			0	0.00%			0	0.00%
	回答施設合計			1				1	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)ある」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	1	1	1	1.00	1	
	500 床以上						
	全体	1	1	1	1.00	1	

12) 定点観測アンケート調査(洗浄置換・置換血小板について)

2-68. 過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)で洗浄置換もしくは置換血小板輸血を行いましたか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	35	8.45%	76	28.36%	111	15.61%
2	いいえ	29	100.00%	379	91.55%	192	71.64%	600	84.39%
	回答施設合計	29		414		268		711	

2-69. 過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)で洗浄置換・置換血小板は何件実施されていますか

洗浄置換・置換血小板実施件数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
院内調整	1～299 床						
	300～499 床	4	1	97	35.25	141	42.85
	500 床以上	31	4	3478	204.90	6352	622.65
	全体	35	1	3478	185.51	6493	587.57
日赤血液センター調整	1～299 床						
	300～499 床	27	1	74	17.63	476	22.70
	500 床以上	42	1	73	18.62	782	19.91
	全体	69	1	74	18.23	1258	20.89

2-70. 洗浄置換・置換血小板の調製法はどのように実施していますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	洗浄置換			16	80.00%	34	57.63%	50	63.29%
2	置換			4	20.00%	25	42.37%	29	36.71%
	回答施設合計			20		59		79	

2-71. 置換液の種類についてお聞きします

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	M-sol			11	68.75%	29	50.88%	40	54.79%
2	G-sol			2	12.50%	12	21.05%	14	19.18%
3	A-sol			2	12.50%	7	12.28%	9	12.33%
4	B-sol			0	0.00%	2	3.51%	2	2.74%
5	重炭酸リンゲル液 (ピカネイト)			0	0.00%	1	1.75%	1	1.37%
6	その他			1	6.25%	6	10.53%	7	9.59%
	回答施設合計			16		57		73	

2-72. 調整工程における不具合はありましたか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい			1	5.88%	4	7.27%	5	6.94%
2	いいえ			16	94.12%	51	92.73%	67	93.06%
	回答施設合計			17		55		72	

「(1)はい」の場合、詳細を簡単に記入 設問 2-72 詳細.xlsx 参照

2-73. 洗浄置換あるいは置換血小板輸血において輸血副作用はありましたか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい			2	7.41%	8	11.27%	10	10.20%
2	いいえ			25	92.59%	63	88.73%	88	89.80%
	回答施設合計	0		27		71		98	

「(1) はい」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)はい」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床	2	1	2	1.50	3	0.71
	500 床以上	7	1	6	2.71	19	1.80
	全体	9	1	6	2.44	22	1.67

「(1)はい」の場合、副作用の種類を記入して下さい

副作用の種類	1～299 床	300～499 床	500 床以上	全体
軽症アレルギー症状			1	1
軽症アレルギー反応		2	5	7
発熱 発疹			1	1
施設数		2	7	9

2-74. 臨床効果をどのように確認していますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	CCI			5	16.67%	12	17.39%	17	17.17%
2	血小板数			23	76.67%	49	71.01%	72	72.73%
3	未実施			2	6.67%	6	8.70%	8	8.08%
4	その他			0	0.00%	2	2.90%	2	2.02%
	回答施設合計			30		69		99	

2-75. 過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)臨床効果(輸血効果)の無かった事例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい			3	10.34%	6	9.23%	9	9.57%
2	いいえ			26	89.66%	59	90.77%	85	90.43%
	回答施設合計			29		65		94	

「(1) はい」場合、症例数を整数で記入して下さい

		施設数	最小値	最大値	平均値	合計値	標準偏差
「(1)はい」場合、症例数 (症例/年)	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	2	2	3	2.50	5	0.71
	全体	2	2	3	2.50	5	0.71

2-76. 洗浄血小板についてご意見が有れば記入して下さい

設問 2-76 洗浄血小板について意見.xlsx 参照

13) 疾病別輸血実施状況について

2-77. 過去 1 年間(2012 年 1 月～2012 年 12 月)の疾病別製剤別使用実績

(1)悪性腫瘍（肝及び肝内胆管）

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	7	8	460	110.00	770	164.05
	300～499 床	82	2	2339	139.55	11443	281.60
	500 床以上	68	11	1915	204.62	13914	286.08
	全体	157	2	2339	166.41	26127	280.21
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	4	20	180	77.50	310	73.20
	300～499 床	55	10	1225	130.36	7170	183.45
	500 床以上	61	10	4025	288.21	17581	598.52
	全体	120	10	4025	208.84	25061	450.20
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	5	27.25	90.00	56.65	283.25	24.82
	300～499 床	70	2.00	2355.00	110.41	7729.00	290.62
	500 床以上	67	5.00	1302.00	187.57	12567.05	254.36
	全体	142	2.00	2355.00	144.92	20579.30	270.86
(4) 自己血／単位	1～299 床	2	58	66	62.00	124	5.66
	300～499 床	12	2	270	60.33	724	87.22
	500 床以上	14	2	307	43.21	605	79.22
	全体	28	2	307	51.89	1453	78.74
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	3	3.2	814.0	539.07	1617.2	464.13
	300～499 床	56	20.0	21150.0	1770.77	99163.0	3330.81
	500 床以上	51	6.8	40313.5	4401.79	224491.3	6441.15
	全体	110	3.2	40313.5	2957.01	325271.5	5147.23

(2)悪性腫瘍（白血病及び悪性リンパ腫）

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	4	2	66	35.00	140	34.74
	300～499 床	63	2	3142	431.98	27215	595.54
	500 床以上	68	2	3592	1216.10	82695	820.30
	全体	135	2	3592	815.19	110050	818.14
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	3	40	250	163.33	490	109.70
	300～499 床	51	10	26605	3324.71	169560	5117.82
	500 床以上	67	10	38644	9024.27	604626	7290.96
	全体	121	10	38644	6402.28	774676	6999.10
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床						
	300～499 床	34	2.00	1031.50	116.94	3976.00	188.55
	500 床以上	63	3.00	1226.75	223.60	14086.55	231.18
	全体	97	2.00	1226.75	186.21	18062.55	222.15
(4) 自己血／単位	1～299 床	1	4	4	4.00	4	
	300～499 床						
	500 床以上	6	4	71	20.00	120	25.43
	全体	7	4	71	17.71	124	23.99
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	1	362.5	362.5	362.50	362.5	
	300～499 床	33	25.0	4275.0	720.11	23763.5	1084.07
	500 床以上	46	4.0	6548.5	1622.43	74631.9	1803.80
	全体	80	4.0	6548.5	1234.47	98757.9	1592.85

(3)悪性腫瘍（その他）

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	8	2	353	125.63	1005	124.74
	300～499 床	81	2	1998	572.37	46362	464.88
	500 床以上	71	20	4176	1488.96	105716	946.67
	全体	160	2	4176	956.77	153083	860.51
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	3	20	150	85.00	255	65.00
	300～499 床	72	10	6485	489.86	35270	870.35
	500 床以上	69	9	7495	1549.28	106900	1600.48
	全体	144	9	7495	989.06	142425	1374.15
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	4	2.00	90.00	50.19	200.75	37.63
	300～499 床	67	3.75	907.50	153.89	10310.75	187.64
	500 床以上	70	4.00	2411.75	351.71	24619.55	375.08
	全体	141	2.00	2411.75	249.16	35131.05	310.96
(4) 自己血／単位	1～299 床	5	4	40	16.60	83	14.66
	300～499 床	44	2	252	75.77	3334	64.96
	500 床以上	57	4	575	168.67	9614	134.65
	全体	106	2	575	122.93	13031	118.37
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	3	75.0	1112.5	422.00	1266.0	597.99
	300～499 床	56	12.5	19437.5	3743.01	209608.3	3934.12
	500 床以上	48	16.0	36562.5	9380.59	450268.2	9471.27
	全体	107	12.5	36562.5	6178.90	661142.5	7518.44

(4)血液・造血器系

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	9	14	512	167.78	1510	184.66
	300～499 床	88	4	2282	280.41	24676	340.15
	500 床以上	71	8	3202	820.66	58267	680.21
	全体	168	4	3202	502.70	84453	575.25
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	6	60	940	329.17	1975	333.35
	300～499 床	70	10	9375	866.71	60670	1699.31
	500 床以上	70	15	14180	2927.36	204915	3099.68
	全体	146	10	14180	1832.60	267560	2659.42
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	6	3.75	116.50	40.04	240.25	43.89
	300～499 床	50	2.00	1219.75	106.09	5304.50	201.56
	500 床以上	63	2.00	953.00	220.22	13873.75	214.70
	全体	119	2.00	1219.75	163.18	19418.50	212.28
(4) 自己血／単位	1～299 床						
	300～499 床	4	4	16	7.00	28	6.00
	500 床以上	13	2	254	56.54	735	91.67
	全体	17	2	254	44.88	763	82.33
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	3	60.0	1400.0	689.50	2068.5	673.66
	300～499 床	44	22.0	4180.0	594.25	26146.8	925.49
	500 床以上	46	7.5	9690.0	1267.62	58310.5	2110.49
	全体	93	7.5	9690.0	930.38	86525.8	1643.68

(5)循環器系

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	6	6	514	143.00	858	197.91
	300～499 床	81	6	12194	833.93	67548	1816.30
	500 床以上	69	22	8225	1824.77	125909	1499.37
	全体	156	6	12194	1245.61	194315	1724.87
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	3	20	500	216.67	650	251.46
	300～499 床	58	10	21280	1265.98	73427	3077.98
	500 床以上	67	4	12343	1980.19	132673	2150.35
	全体	128	4	21280	1615.23	206750	2613.10
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	5	3.80	336.00	86.01	430.05	141.23
	300～499 床	56	2.00	6817.75	761.21	42628.00	1426.71
	500 床以上	69	3.00	7764.25	1176.95	81209.50	1226.26
	全体	130	2.00	7764.25	955.90	124267.55	1316.45
(4) 自己血／単位	1～299 床	1	60	60	60.00	60	
	300～499 床	20	4	422	93.00	1860	129.53
	500 床以上	34	2	308	61.85	2103	75.27
	全体	55	2	422	73.15	4023	97.95
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	3	220.0	815.0	474.17	1422.5	306.82
	300～499 床	59	7.5	38310.0	3015.66	177924.0	5864.15
	500 床以上	53	21.0	37462.5	8466.78	448739.5	8504.36
	全体	115	7.5	38310.0	5461.62	628086.0	7644.41

(6)消化器系

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	9	10	452	194.89	1754	150.89
	300～499 床	94	3	1550	426.11	40054	339.18
	500 床以上	72	24	3424	879.14	63298	608.91
	全体	175	3	3424	600.61	105106	520.47
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	3	10	150	66.67	200	73.71
	300～499 床	74	10	980	179.73	13300	194.73
	500 床以上	65	20	1950	456.72	29687	407.84
	全体	142	10	1950	304.13	43187	339.51
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	6	15.00	102.00	56.17	337.00	34.52
	300～499 床	67	2.00	823.75	180.11	12067.25	187.89
	500 床以上	69	4.00	2409.75	452.28	31207.05	451.33
	全体	142	2.00	2409.75	307.12	43611.30	368.05
(4) 自己血／単位	1～299 床						
	300～499 床	10	2	34	9.60	96	9.88
	500 床以上	21	2	175	32.57	684	47.69
	全体	31	2	175	25.16	780	40.80
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	6	208.5	1800.0	845.42	5072.5	527.70
	300～499 床	66	25.0	13242.0	3028.82	199901.8	2877.50
	500 床以上	54	37.5	66580.0	7162.11	386753.8	9641.11
	全体	126	25.0	66580.0	4696.25	591728.1	6966.67

(7)尿路性器系

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	7	4	94	28.29	198	32.24
	300～499 床	80	2	628	142.59	11407	131.72
	500 床以上	71	10	2048	269.37	19125	310.20
	全体	158	2	2048	194.49	30730	238.35
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	1	20	20	20.00	20	
	300～499 床	43	10	565	105.23	4525	115.82
	500 床以上	59	1	1035	180.14	10628	226.42
	全体	103	1	1035	147.31	15173	190.27
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	4	3.80	60.00	18.83	75.30	27.50
	300～499 床	43	2.00	532.00	62.60	2692.00	108.03
	500 床以上	67	1.00	4830.00	193.72	12979.25	610.01
	全体	114	1.00	4830.00	138.13	15746.55	475.61
(4) 自己血／単位	1～299 床	2	5	19	12.00	24	9.90
	300～499 床	43	2	148	33.40	1436	36.16
	500 床以上	55	2	380	50.02	2751	75.16
	全体	100	2	380	42.11	4211	61.02
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	3	84.5	800.0	351.50	1054.5	390.76
	300～499 床	57	12.5	12545.0	925.44	52750.0	1865.56
	500 床以上	53	9.0	14180.5	2052.48	108781.7	2632.17
	全体	113	9.0	14180.5	1438.82	162586.2	2302.96

(8)妊娠・分娩

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	3	4	22	12.67	38	9.02
	300～499 床	49	2	184	46.55	2281	46.79
	500 床以上	60	1	668	106.68	6401	104.95
	全体	112	1	668	77.86	8720	88.31
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	1	10	10	10.00	10	
	300～499 床	19	10	150	53.68	1020	43.20
	500 床以上	48	10	530	97.56	4683	112.77
	全体	68	10	530	84.01	5713	99.48
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	2	6.00	15.00	10.50	21.00	6.36
	300～499 床	37	1.00	285.00	50.74	1877.25	59.99
	500 床以上	59	1.00	319.50	84.00	4956.25	76.47
	全体	98	1.00	319.50	69.94	6854.50	71.88
(4) 自己血／単位	1～299 床	3	2	9	5.00	15	3.61
	300～499 床	35	1	234	21.69	759	41.16
	500 床以上	57	3	218	35.88	2045	38.84
	全体	95	1	234	29.67	2819	39.73
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床						
	300～499 床	31	11.0	4322.0	266.47	8260.5	764.63
	500 床以上	41	12.5	5062.5	390.71	16019.1	782.87
	全体	72	11.0	5062.5	337.22	24279.6	772.12

(9) 損傷、中毒その他の外傷

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	6	4	397	187.83	1127	168.10
	300～499 床	69	4	1954	244.04	16839	319.22
	500 床以上	65	2	6613	745.45	48454	971.53
	全体	140	2	6613	474.43	66420	741.41
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	4	10	80	42.50	170	29.86
	300～499 床	44	10	1095	101.82	4480	177.75
	500 床以上	59	3	4410	475.90	28078	741.72
	全体	107	3	4410	305.87	32728	591.49
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	6	2.00	36.50	13.42	80.50	13.06
	300～499 床	50	2.00	731.25	73.96	3697.75	127.83
	500 床以上	61	4.00	3689.25	417.00	25437.25	685.97
	全体	117	2.00	3689.25	249.71	29215.50	530.30
(4) 自己血／単位	1～299 床	2	4	192	98.00	196	132.94
	300～499 床	29	2	346	53.38	1548	85.16
	500 床以上	35	2	336	40.00	1400	65.28
	全体	66	2	346	47.64	3144	75.82
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	2	152.0	300.5	226.25	452.5	105.01
	300～499 床	43	12.5	48287.5	1832.56	78800.1	7345.21
	500 床以上	47	5.0	22657.5	3205.09	150639.2	5086.54
	全体	92	5.0	48287.5	2498.82	229891.8	6209.72

(10)その他

疾病別製剤別血液製剤使用実績							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／単位	1～299 床	10	8	701	224.20	2242	229.58
	300～499 床	95	2	1724	378.72	35978	413.42
	500 床以上	69	4	7372	1173.90	80999	1136.56
	全体	174	2	7372	685.17	119219	873.20
(2) 血小板製剤／単位	1～299 床	6	30	210	106.67	640	73.12
	300～499 床	74	8	5290	407.04	30121	731.33
	500 床以上	65	10	10555	1966.26	127807	2473.04
	全体	145	8	10555	1093.57	158568	1901.60
(3) 新鮮凍結血漿／単位	1～299 床	7	2.00	94.00	41.53	290.70	35.92
	300～499 床	78	3.00	1850.00	206.31	16092.50	326.60
	500 床以上	64	4.00	3280.00	792.29	50706.30	719.99
	全体	149	2.00	3280.00	450.27	67089.50	605.03
(4) 自己血／単位	1～299 床	5	1	204	97.60	488	96.97
	300～499 床	56	7	1857	203.93	11420	285.69
	500 床以上	62	2	891	334.15	20717	262.59
	全体	123	1	1857	265.24	32625	277.26
(5) アルブミン製剤／g	1～299 床	8	57.5	2722.0	1453.69	11629.5	1038.64
	300～499 床	73	12.5	20837.5	2661.12	194261.4	3256.19
	500 床以上	52	37.0	75050.0	12389.74	644266.4	17514.89
	全体	133	12.5	75050.0	6392.16	850157.3	12153.72

14) 手術時輸血製剤詳細調査

2-85. 過去 1 年間（2012 年 1 月～2012 年 12 月）手術時輸血実施症例数

(1) 整形外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	216	1	446	60.84	13142	67.16
(2) 同種血、自己血併用	全体	116	1	36	4.93	572	5.56
(3) 同種血のみ	全体	235	1	515	56.80	13349	58.46
(4) 自己フィブリン糊	全体	14	1	88	29.57	414	28.81

(2) 心臓・大血管外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	70	1	160	16.23	1136	23.24
(2) 同種血、自己血併用	全体	50	1	56	7.56	378	10.39
(3) 同種血のみ	全体	152	1	3801	142.12	21602	319.54
(4) 自己フィブリン糊	全体	16	1	72	21.25	340	18.76

(3) 一般・消化器外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	71	1	149	13.39	951	23.06
(2) 同種血、自己血併用	全体	33	1	21	4.91	162	4.96
(3) 同種血のみ	全体	234	3	978	74.57	17450	88.28
(4) 自己フィブリン糊	全体	7	3	302	62.71	439	106.31

(4) 脳神経外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	59	1	416	19.31	1139	57.03
(2) 同種血、自己血併用	全体	24	1	23	2.71	65	4.48
(3) 同種血のみ	全体	196	1	151	17.04	3340	19.60
(4) 自己フィブリン糊	全体	15	1	425	52.73	791	108.58

(5) 産婦人科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	177	1	279	27.53	4873	34.89
(2) 同種血、自己血併用	全体	91	1	55	3.98	362	6.27
(3) 同種血のみ	全体	195	1	290	21.21	4135	28.90
(4) 自己フィブリン糊	全体	7	13	123	39.29	275	40.87

(6) 泌尿器科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	202	1	183	24.41	4931	23.89
(2) 同種血、自己血併用	全体	118	1	38	2.92	344	4.05
(3) 同種血のみ	全体	203	1	155	16.68	3386	20.34
(4) 自己フィブリン糊	全体	9	1	51	18.78	169	21.41

(7) 形成・皮膚科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	28	1	27	5.54	155	7.07
(2) 同種血、自己血併用	全体	6	1	4	1.67	10	1.21
(3) 同種血のみ	全体	121	1	42	6.45	781	7.57
(4) 自己フィブリン糊	全体	3	1	21	8.00	24	11.27

(8) 耳鼻咽喉科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	9	1	12	3.78	34	4.21
(2) 同種血、自己血併用	全体	3	1	6	3.00	9	2.65
(3) 同種血のみ	全体	100	1	55	8.43	843	10.83
(4) 自己フィブリン糊	全体	2	7	10	8.50	17	2.12

(9) 口腔外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	36	1	105	13.28	478	22.79
(2) 同種血、自己血併用	全体	4	1	2	1.25	5	0.50
(3) 同種血のみ	全体	56	1	28	5.59	313	5.90
(4) 自己フィブリン糊	全体	3	7	37	20.67	62	15.18

(10) その他の手術

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	26	1	107	14.35	373	27.43
(2) 同種血、自己血併用	全体	8	1	6	2.00	16	1.93
(3) 同種血のみ	全体	145	1	301	38.57	5592	52.63
(4) 自己フィブリン糊	全体	2	1	2	1.50	3	0.71

(11) 骨髄移植ドナー

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ	全体	69	1	29	9.81	677	6.34
(2) 同種血、自己血併用	全体	1	1	1	1.00	1	
(3) 同種血のみ	全体	7	1	58	11.29	79	20.72
(4) 自己フィブリン糊	全体						

2-79. 過去 1 年間（2012 年 1 月～2012 年 12 月）手術時輸血単位数

(1) 整形外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	218	2	1848	200.46	43700	246.50
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	117	1	96	16.38	1917	20.93
	同種血／単位	116	1	216	19.24	2232	27.69
(3) 同種血のみ／単位	全体	238	2	1672	228.92	54482	259.62
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	13	1	244	77.92	1013	74.62

(2) 心臓・大血管外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	71	2	314	53.49	3798	61.13
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	48	1	138	28.81	1383	36.28
	同種血／単位	48	4	478	64.96	3118	100.47
(3) 同種血のみ／単位	全体	149	4	8287	1210.23	180324	1362.89
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	14	1	144	49.29	690	44.17

(3) 一般・消化器外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	69	2	292	33.01	2278	50.46
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	32	1	82	15.91	509	18.26
	同種血／単位	32	1	222	33.38	1068	47.53
(3) 同種血のみ／単位	全体	239	10	2917	381.16	91097	400.44
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	7	5	672	151.86	1063	234.83

(4) 脳神経外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 自己血のみ／単位		全体	61	2	836	43.43	2649	118.37
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	全体	24	2	160	11.83	284	31.72
	同種血／単位	全体	24	2	150	17.08	410	29.81
(3) 同種血のみ／単位		全体	199	1	1482	77.66	15454	122.70
(4) 自己フィブリン糊／単位		全体	15	1	852	112.47	1687	222.35

(5) 産婦人科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 自己血のみ／単位		全体	179	1	852	69.64	12465	106.31
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	全体	90	2	98	12.30	1107	14.93
	同種血／単位	全体	91	2	264	23.34	2124	31.62
(3) 同種血のみ／単位		全体	200	2	852	113.10	22620	131.28
(4) 自己フィブリン糊／単位		全体	6	30	237	95.67	574	84.43

(6) 泌尿器科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 自己血のみ／単位		全体	202	2	411	83.43	16852	78.42
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	全体	115	1	56	10.08	1159	9.02
	同種血／単位	全体	116	2	102	13.94	1617	15.56
(3) 同種血のみ／単位		全体	203	2	1326	92.02	18681	139.02
(4) 自己フィブリン糊／単位		全体	8	1	144	40.88	327	50.63

(7) 形成・皮膚科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	28	1	84	14.68	411	17.62
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	5	1	16	5.80	29	5.85
	同種血／単位	6	4	12	8.67	52	3.01
(3) 同種血のみ／単位	全体	120	1	234	30.40	3648	37.07
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	2	2	42	22.00	44	28.28

(8) 耳鼻咽喉科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	9	2	34	11.11	100	13.31
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	3	2	14	8.00	24	6.00
	同種血／単位	3	2	26	12.67	38	12.22
(3) 同種血のみ／単位	全体	104	2	284	37.15	3864	52.23
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	2	16	26	21.00	42	7.07

(9) 口腔外科

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	42	2	210	28.98	1217	48.05
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	4	2	4	2.75	11	0.96
	同種血／単位	4	1	4	2.25	9	1.26
(3) 同種血のみ／単位	全体	57	2	924	38.35	2186	121.61
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	3	14	95	49.00	147	41.61

(10) その他の手術

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	23	1	301	27.30	628	66.50
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	10	1	18	6.30	63	6.02
	同種血／単位	10	1	58	18.80	188	22.01
(3) 同種血のみ／単位	全体	147	2	2324	238.56	35069	364.57
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体	2	2	5	3.50	7	2.12

(11) 骨髄移植ドナー

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 自己血のみ／単位	全体	68	2	87	28.13	1913	18.43
(2) 同種血、自己血併用	自己血／単位	1	2	2	2.00	2	
	同種血／単位	1	1	1	1.00	1	
(3) 同種血のみ／単位	全体	9	9	426	77.56	698	131.58
(4) 自己フィブリン糊／単位	全体						

15) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

2-80. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で輸血部または関連する部門で下記の成分採血、細胞処理、凍結、保存を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	41	11.11%	146	59.11%	187	29.13%
2	いいえ	26	100.00%	328	88.89%	101	40.89%	455	70.87%
	回答施設合計	26		369		247		642	

2-81. 過去1年間(2012年1月～2012年12月)で輸血部または関連する部門で問2-80以外の細胞処理(血管新生療法用の末梢血単核球分画分離など)、培養、凍結・保存を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	1	0.33%	14	6.54%	15	2.81%
2	いいえ	21	100.00%	298	99.67%	200	93.46%	519	97.19%
	回答施設合計	21		299		214		534	

「(1) はい」場合、症例数を整数で記入して下さい

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1)はい」場合、症例数 (症例/年)	1～299床					
	300～499床					
	500床以上	10	1	24	9.30	8.21
	全体	10	1	24	9.30	8.21

「(1)はい」の場合、内容を具体的に記入して下さい

設問 2-81 内容詳細.xlsx 参照

2-82. 輸血部または関連する部門以外で細胞プロセッシングが行われていますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	2	0.67%	13	6.19%	15	2.83%
2	いいえ	21	100.00%	297	99.33%	197	93.81%	515	97.17%
	回答施設合計	21		299		210		530	

「(1)はい」の場合、内容を具体的に記入して下さい

設問 2-82 内容詳細.xlsx 参照

「(1)はい」の場合、行っている部門を具体的に記入して下さい

設問 2-82 部門詳細.xlsx 参照

16) 1 日赤血球輸血 10 単位以上使用の調査

2-83. 2012 年 1 月～2012 年 12 月の期間で大量出血のため 1 日につき RCC10 単位以上輸血した症例はありますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	7	29.17%	245	63.14%	227	92.65%	479	72.91%
2	いいえ	17	70.83%	143	36.86%	18	7.35%	178	27.09%
	回答施設合計	24		388		245		657	

2-84. 2012 年 1 月～2012 年 12 月の期間の全輸血症例数と総 RCC 使用量・総 FFP 使用量および、大量出血のため 1 日につき RCC10 単位以上輸血した症例数とその症例の総 RCC 使用量、総 FFP 使用量を記入してください

全輸血例							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 症例数／症例	1～299 床	3	36	1698	635.33	1906	922.81
	300～499 床	145	1	5690	997.61	144654	996.26
	500 床以上	142	2	12843	2310.73	328123	2351.29
	全体	290	1	12843	1636.84	474683	1906.92
(2) 総 RCC 使用量／単位	1～299 床	5	430	4212	1785.40	8927	1434.94
	300～499 床	164	32	17425	3034.92	497727	2047.52
	500 床以上	152	24	23227	8505.72	1292869	4797.16
	全体	321	24	23227	5605.99	1799523	4542.05
(3) 総 FFP 使用量／単位	1～299 床	5	164.00	1863.00	766.20	3831.00	666.73
	300～499 床	163	24.00	22175.00	1190.14	193993.20	2107.56
	500 床以上	151	14.00	22850.00	4128.79	623447.25	3560.37
	全体	319	14.00	22850.00	2574.52	821271.45	3229.34

RCC10 単位以上輸血例							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 症例数／症例	1～299 床	6	1	78	25.00	150	27.81
	300～499 床	180	1	235	19.91	3583	29.56
	500 床以上	160	1	457	86.88	13901	81.79
	全体	346	1	457	50.97	17634	68.27
(2) 総 RCC 使用量／単位	1～299 床	6	10	1065	357.33	2144	398.86
	300～499 床	176	10	3826	342.20	60227	521.15
	500 床以上	159	18	7606	1528.72	243067	1504.38
	全体	341	10	7606	895.71	305438	1242.95
(3) 総 FFP 使用量／単位	1～299 床	6	10.00	919.00	237.50	1425.00	354.22
	300～499 床	172	4.00	4346.00	250.32	43055.05	480.27
	500 床以上	157	6.00	7415.75	1256.41	197256.10	1341.53
	全体	335	4.00	7415.75	721.60	241736.15	1101.63

2-85. 別紙 7 で、2012 年 1 月～2012 年 12 月の 1 年間(1年間分の記載が困難な場合は、6 ヶ月、3 ヶ月分または 1 ヶ月分)症例別に RCC 総使用量、FFP 総使用量、クリオ総使用量、フィブリノゲン総使用量、凝固因子製剤 (FFP 含む) 使用前のフィブリノゲン値測定の有無と測定値、診療科名を報告してください。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	33.33%	77	45.03%	87	60.00%	166	51.55%
2	いいえ	4	66.67%	94	54.97%	58	40.00%	156	48.45%
	回答施設合計	6		171		145		322	

2-86. 設問 2-85 で、「(1)はい」の場合、報告期間と症例数を記入してください。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1 年間	1	50.00%	69	89.61%	47	54.02%	117	70.48%
2	6 ヶ月	0	0.00%	1	1.30%	10	11.49%	11	6.63%
3	3 ヶ月	0	0.00%	4	5.19%	12	13.79%	16	9.64%
4	1 ヶ月	1	50.00%	3	3.90%	18	20.69%	22	13.25%
	回答施設合計	2		77		87		166	

期間を記入してください AA 月～BB 月

設問 2-86 期間詳細.xlsx 参照

症例数を整数で記入して下さい

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
症例数(症例/年)	1～299 床	2	1	5	3.00	6	2.83
	300～499 床	77	1	979	28.86	2222	111.27
	500 床以上	86	1	307	53.62	4611	66.02
	全体	165	1	979	41.45	6839	90.37

2-87. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対してどの様に対応していますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	FFP のみを用いて対応している	6	100.00%	155	85.64%	136	76.40%	297	81.37%
2	FFP と院内で作製したクリオプレシピテートを用いて対応している	0	0.00%	3	1.66%	7	3.93%	10	2.74%
3	FFP とフィブリノゲン製剤（保険適用外）を用いて対応している	0	0.00%	11	6.08%	23	12.92%	34	9.32%
4	FFP、クリオプレシピテート、フィブリノゲン製剤を用いて対応している	0	0.00%	2	1.10%	4	2.25%	6	1.64%
5	その他	0	0.00%	10	5.52%	8	4.49%	18	4.93%
	回答施設合計	6		181		178		365	

「(5)その他」の場合、具体的に記入して下さい

設問 2-87 その他詳細.xlsx 参照

2-88. 設問 2-87 で(2)、(3)、(4)、を選択した施設にお尋ねします。クリオプレシピテート、フィブリノゲンの使用基準は決めていますか。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい			6	46.15%	12	38.71%	18	40.91%
2	いいえ			7	53.85%	19	61.29%	26	59.09%
	回答施設合計			13		31		44	

2-89. 設問 2-88 で、「(1)はい」と答えた施設にお尋ねします。主たる使用基準はなんですか。

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	術野で出血が続いているという医師の状況判断のみ			1	16.67%	1	8.33%	2	11.11%
2	検査結果による使用基準のみ			1	16.67%	2	16.67%	3	16.67%
3	術野で出血が続いているという医師の状況判断に加えて、検査結果による使用基準を満たした時			3	50.00%	9	75.00%	12	66.67%
4	その他			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	不明			1	16.67%	0	0.00%	1	5.56%
	回答施設合計			6		12		18	

2-90. 設問 2-89 で(2)、(3)、と答えた施設にお尋ねします。使用基準に用いている検査項目は何ですか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	PT (プロトロンビン時間)			2	50.00%	2	18.18%	4	26.67%
2	aPTT (活性部分トロンボプラスチン時間)			2	50.00%	2	18.18%	4	26.67%
3	フィブリノゲン濃度			4	100.00%	11	100.00%	15	100.00%
4	ACT (活性化凝固時間)			1	25.00%	2	18.18%	1	6.67%
5	TEG (thromboelastograph)、 ROTEM (thromboelastometry)			0	0.00%	2	18.18%	2	13.33%
6	その他			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計					11		15	

2-91. 設問 2-90 で、フィブリノゲン濃度を選択した施設にお尋ねします。クリオプレシピテート又はフィブリノゲン製剤の使用基準値はいくつですか。

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
フィブリノゲン製剤の使用基準値 (mg/dL 以下)	1～299 床						
	300～499 床	2	100	185	142.50	285	60.10
	500 床以上	11	50	150	109.09	1200	30.15
	全体	13	50	185	114.23	1485	34.87

2-92. 設問 2-89 で(2)、(3)、と答えた施設にお尋ねします。貴施設で**緊急**に凝固検査(PT、aPTT、フィブリノゲン)を提出してから結果が報告されるまでの所用時間はどれくらいでしょうか

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
時間内所要時間(分)	1～299 床						
	300～499 床	2	20	30	25.00	50	7.07
	500 床以上	9	5	40	20.56	185	9.82
	全体	11	5	40	21.36	235	9.24
時間外所要時間(分)	1～299 床						
	300～499 床	2	20	30	25.00	50	7.07
	500 床以上	9	15	40	23.33	210	8.29
	全体	11	15	40	23.64	260	7.78

2-93. 貴施設では大量出血・大量輸血時に凝固検査を行っていますか

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	7	77.78%	138	76.67%	138	86.79%	283	81.32%
2	いいえ	2	22.22%	42	23.33%	21	13.21%	65	18.68%
	回答施設合計	9		180		159		348	

2-94. 設問 2-93 で「(1)はい」、と答えた施設にお尋ねします。行っている検査項目をお答えください

複数回答可

番号	項目	1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血算（赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値、血小板数を含む）	7	100.00%	131	97.76%	132	97.06%	270	97.47%
2	PT（プロトロンビン時間）	7	100.00%	129	96.27%	135	99.26%	271	97.83%
3	aPTT（活性部分トロンボプラスチン時間）	7	100.00%	124	92.54%	132	97.06%	263	94.95%
4	フィブリノゲン濃度	6	85.71%	114	85.07%	125	91.91%	245	88.45%
5	ACT（活性化凝固時間）	0	0.00%	8	5.97%	14	10.29%	22	7.94%
6	TEG（thromboelastograph）、 ROTEM（thromboelastometry）	1	14.29%	0	0.00%	5	3.68%	6	2.17%
7	その他	0	0.00%	6	4.48%	6	4.41%	12	4.33%
	回答施設合計	7		134		136		277	

「(7)その他」の場合、具体的に記入して下さい

設問 2-94 その他詳細.xlsx 参照

2-95. 貴施設で緊急に凝固検査(PT、aPTT、フィブリノゲン)を提出してから結果が報告されるまでの所用時間はどれくらいでしょうか

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
時間内所要時間(分)	1～299 床	7	15	40	25.00	175	8.66
	300～499 床	140	7	60	24.63	3448	8.76
	500 床以上	139	5	60	26.70	3711	9.83
	全体	286	5	60	25.64	7334	9.32
時間外所要時間(分)	1～299 床	7	15	40	26.43	185	8.52
	300～499 床	134	10	60	25.83	3461	8.84
	500 床以上	136	10	60	27.80	3781	10.74
	全体	277	10	60	26.81	7427	9.83